



【指導事例 1】

1 主 題 「生きる喜びを感じて」〔よりよく生きる喜び〕

2 ねらい

逆境に挫けることなく、自分の決断によって人生を切り開いていった吟子の生き方を通して、人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとする心情を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、日本で初めての女性医師として活躍した荻野吟子の功績に触れることを通して、人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとする心情を育むことをねらいとしています。
前半では、自身の病や家族との離別、女性軽視という様々な苦境に立たされながらも、女医になるという志を貫き、国内での女性医師第一号となるまでの荻野吟子の姿が示されています。
後半では、開拓者として北海道に渡り、瀬棚町で医院を開業した後、女性の人権擁護のための社会活動にも邁進していく荻野吟子の姿が示されています。
指導に当たっては、荻野吟子が多くの困難を乗り越えて自分の道を切り拓いたということを理解するとともに、よりよく生きるためにどのような選択をしていくことが大切なのかについて考えを深めていくことが重要です。

4 展開例—①「荻野吟子の人生の選択場面について話し合う活動を通して、よりよく生きることについて考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちの将来のことについて話し合う。 ○ 皆さんは、これから先、どんな将来を考えていますか。 ・ 将来は、看護師になりたいので、看護学校に行きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イメージマップを活用し、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「日本で初めての女性医師」を読み、人物像をつかむ。 ○ 荻野吟子は、どんな人物でしょう。 ・ 勉強熱心である。 ・ 日本初の女性医師になった。 ◎ 荻野吟子の人生は、幸せだったのでしょうか。 ・ 困難なことばかり続く人生だったから、幸せではなかったと思う。 ・ 大変な思いはしたけど、自分の思ったことをしてきたから幸せだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物は、人生でどのような決断や判断をしていったのかということを意識する。 ・ 登場人物の生き方について、イメージマップを活用し多面的・多角的に話し合い、価値理解・他者理解を深める。 ・ 登場人物の決断や判断は、自分の理想をもち続け、諦めたくないという思いから導かれていることに気付くことができるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれからの生き方について考える。 ○ 自分がよりよく生きていくために、どのようなことが大切だと思いますか。 ・ 自分の思いや考えを大切に作る。 ・ 諦めない気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの自分を振り返り、今後の自分について考えることにより、自己理解を深める。 ■ よりよく生きることについて、自分との関わりの中で考えている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※教師の印象に強く残っている先人の生き方や取組についての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの人生をよりよく生きようとする実践意欲が育まれるようにする。

【指導事例 2】

1 主 題 「誠実にあきらめない心で」〔希望と勇気、努力と強い意志〕

2 ねらい

逆境に負けず、自分の決断によって人生を切り開いていった吟子の生き方を通して、何事にもくじけず、人間として前を向いて努力しようとする心情を育てる。

3 展開例—②「荻野吟子の生き方について話し合う活動を通して、努力と強い意志について考える展開」

4 主な学習活動

(1) 女性であるということだけで、医師になるための試験を受けられなかったときの気持ちを考えましょう。

- ・男女差別であり、かわいそう。
- ・役人に分かってもらう努力を惜しまない立派な人だ。
- ・女性でも医師になれることを証明したい。

(2) なぜ、貧しい人や女性も分け隔てなく診察したり、吹雪の中を遠くまで往診したりしたのかを考えましょう。

- ・本当に困っている人を救いたいという優しさがあるから。
- ・自分が受けた差別を、他の人に絶対にしないという気持ちがあるから。
- ・貧しい人でもきちんと診察する心の広さがあるから。

(3) 荻野吟子のように困難があっても諦めず、努力と強い意志をもって生きるために自分に何ができるかを考えてみましょう。

- ・荻野吟子が最後まで一人の医師として活躍したように、自分も最後まで諦めずに何事も頑張ってみたい。
- ・自分のできることをよく考えて生活していきたい。
- ・ちょっとしたことでくじけず、努力していきたい。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの学習において、詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする言語活動で、本教材を取り上げることを通して、人物の行動や生き方と自分の経験や考え方などとの共通点や相違点を見付け、共感するところや取り入れたいところなどを中心に考えることができるようにする。

■ 社会科

我が国の政治の働きに関する学習において、本教材を資料として活用することを通して、当時の日本において女性の地位向上や差別撤廃、普通選挙などの民主主義運動が起こったことについての理解や考えを深めることができるようにする。

■ 特別活動（児童会活動）

児童会活動において、荻野吟子の生き方を紹介することを通して、よりよい学校生活のために積極的に取り組むことについて、児童自身が意識して努力したり、主体的に取り組んだりするなどの自発的、自治的な活動への意欲を高めることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、荻野吟子について家族と話し合ったり、児童のよりよく生きる喜びが高まる言葉がけをしてもらったりすることを通して、児童の実践意欲を高めることができるようにする。